

第14回徳島県PT・OT・ST合同研修会

大震災時の医療支援とリハビリテーション専門職の関わり
—南海トラフ大規模災害に備え、私たちに何ができるか—

日時：平成27年11月15日（日）

会場：徳島健祥会福祉専門学校講堂

徳島県で毎年開催されているPT・OT・ST合同研修会のテーマに、今年度は上記のように災害リハを取り上げ、栗原先生をお招きいただき、下記のようなプログラムで開催していただきました。徳島県では、県の主導で「徳島県災害時リハビリテーション協議会」が近く発足し、今後、圏域ごとのリハコーディネーターの育成・体制整備が進んでいきます。今回の78名の参加者（PT35人、OT18人、ST10人、学生12人、一般3人）がこれらの中核となっていたることを期待しています。（文責 加藤真介）

プログラム

開会式（各士会長挨拶）

10：10～11：10 講演1：三村 誠二 先生

徳島県立中央病院救急救命センター長・救急科部長

「大規模災害急性期の医療活動」

11：20～12：00 講演2：町田 千尋 氏

徳島県保健福祉部医療政策課医療戦略推進室 医療戦略推進担当主任主事

「徳島県の災害対応と災害時情報共有システム」

13：00～13：50 講演3：加藤 真介 先生

徳島大学病院リハビリテーション部教授・徳島 JRAT 代表

「南海トラフ地震に向けた行政と連携した災害リハ体制整備」

14：00～15：10 講演4：栗原 正紀 先生

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）代表

「大規模災害時の JRAT の役割とリハ専門職の関わり」

15：10～15：30 質疑応答・総合討論

閉会式（3士会災害リハコーディネーター各代表）

